

# 平成29年度 農地中間管理事業評価票

山口県農地中間管理事業評価委員会

評価値 A：適正である、順調である B：ほぼ適正である、ほぼ順調である C：取り組み強化、改善を要する

区分	評価項目	評価値			特記事項	
		A	B	C		
1 事業実績	(1)集積実績	1			難しい事業でありながら、よくやっている。	
		1			目標に対する達成率50%強B、他県に対する実績評価A、総合でA'	
			2		概ね順調である。(対目標達成率:56%) 着実に成果が出ている状況にある。	
				1	目標に対する実績で評価した。1, 277/2, 280≒56%	
	(2)出し手への対応	1			出し手情報の収集法が改善され、登録農地が増加した。	
			4		前年より増加した。	
	(3)受け手への対応		5		前年より増加した。 積極的に農業をする経営体へのアプローチも必要と思う。	
		(4)マッチング	3			マッチングはネックにはなっていないように思う。 マッチングは順調である。 公募管理システムの活用により、効率化が進みつつある。
				2		マッチングさせるのは大変かと思う。 システムの導入で効率化が図られている。
	2 事業実施方法	(1)事業推進体制	5			体制強化がみられる。 色々と考えておられると思う。 農地集積と農地管理の業務を2部門(一室一課)に分け、業務の明確化と集中化により体制強化が図られている。 体制の強化に取り組んでいる。
(2)県・市町・JAとの連携			2			事業推進に努めている。
				2		農地利用最適化推進委員との連携強化により、実効性の高い取り組みが望まれる。
(3)現地での調整				1		県内地域において対応度に差がみられる。
		1				年内目標に対する実績135%である。
(4)事業の啓発活動 (農業者への周知活動)			4			推進員の増員も図られている。
		1				積極的に取り組んでいる。
(5)公募に応じた者などの受け手ニーズへの対応				3		前年に対し、周知項目には増加があった。
					1	
(6)「人・農地プラン」への関与等			5			H28年経営体の貸付割合57%、H29年61%、若干の伸びが見られる。 マッチングが上手に出来るといいと思う。
	(7)基盤整備との関係		5			検討委員会への参画は順調である。
		3				大面積に集約されるといいと思う。
(8)新規就農者や企業への対応			2			
			4			H27年13経営体、H28年15経営体、H29年14経営体貸借の伸びは小さいが、今後とも重要事業である。 出し手も機構を通した方が安心かと思う。
				1		受け手の数を増やすことが一番の課題だと思います それには、ここを強化する必要があると思う。

区 分	評価項目	評価値			特 記 事 項
		A	B	C	
2 事業実施方法	(9)29年度に向けた 推進体制・推進方法 の改善	3			充実した計画内容となっている。 圃場整備地区での集積は大切だと考える。 推進員の大幅増員のほか、種々取り組みの強化が計画されている。
			2		
〔総合評価〕		1			毎年充実した対策により順調に伸びているが、県内の農業就業者の平均年齢を考えると目標に対する達成率をもっと上げる必要がある。
			4		他県と比較するとかなりの実績をあげられていると思う。 よくやっていると思うが、農業の未来を考えると、もう少し集積が進む必要もあるのかなと思う。 概ね順調に成果が得られている。事業実施方法の改善と強化が進みつつあり、更なる成果が期待できる。 着実に転貸面積が積み上がっており、確実に成果があがっている。

注 表中の「評価値 ABC」欄は、評価委員5名の評価状況を記載している。